

# 令和5年度 12月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	16回
2	延べ従事補導委員数	59人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	160人



## 12月の補導日誌から

12月1日(金)

5班 (T・R) 記

**巡回経路** 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター → パチンコ店  
→ 曽根公園 → 仙祿湖公園 → ショッピングモール → 大型ゲームセンター

### 補導の様子

少々風が強い中、巡回活動をしました。大型ゲームセンターの駐車場は、夜間、若者の集合場所となり、迷惑行為があったようで、スタッフは対応に苦慮していたとのことでした。ネットカフェでは、会員になる際、身分証明書の提示を求めており、未成年者のネット利用にはフィルターをかける等の対策をされているとのことでした。パチンコ店では、18歳未満かもしれないと思われる客には、身分証明書等で年齢確認をしているとのことでした。公園には、人の姿はありませんでした。今日は、子どもや学生の皆さんには行き合いませんでしたが、施設の様々な対応や対策の仕方を聞くことができ、良かったと思えました。

12月4日(月)

6班 (K・M) 記

**巡回経路** 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク  
→ 佐久平駅 → 佐久平駅 → 大型スーパーゲームコーナー

### 補導の様子

気温がぐっと下がり寒い日が続きますが、冬らしいさわやかな晴天の午後でした。巡回は、大型スーパーから市民交流ひろばへと足を伸ばしました。寒い月曜日ということもあって、子どもの姿はありませんでした。市民交流ひろばを抜けると、ミレニアムパークのバスケットボールコートで、6人が3×3のバスケットゲームに熱中していました。高校生かと尋ねると、社会人だと笑顔で答えてくれました。バスケットボールは広い世代に人気があるスポーツのようです。その後、駅に向かう間、子どもには会わず寂しい感じでした。駅にも子どもの姿はなく、小海線の待合室に3人ほどの大人が電車を待っているだけでした。大型スーパーに戻り、新しくできたゲームコーナーに行きました。土、日は多くの子ども連れでにぎわうというキッズコーナーですが、当日は月曜日ということもあって、閑散としていました。同じ階のゲームコーナー、フードコートを巡回しましたが、4、5人の客を見かけたただけでした。

12月5日(火)

11班 (K・I) 記

**巡回経路** 生涯学習センター → 大型ゲームセンター → ネットカフェ  
→ パチンコ店

## 補導の様子

生涯学習センターの学習室では、数人が勉強中。大型ゲームセンターでは、園児連れの母子・若い女性・若い人のグループ・年配の人などいろいろな年齢層の人がゲームに熱中していた。ネットカフェでは、インターネット・カラオケ・ダーツ・ビリヤードなどの部屋があるが、ほとんど人はいなかった。パチンコ店では、未成年者対策をしているようでした。未成年らしき人は確認できなかった。

12月6日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 下の宮公園 → 臼田児童館 → 橋詰公園

→ 稲荷山公園 → コスモホール → 明神坂

## 補導の様子

師走に入り、寒い日が続いていたが、ようやく陽光が差し込む暖かい黄昏時の下の宮公園を訪問した。公園では小学生3人が投手・捕手・打者に分かれ野球をやっていた。投手が投じる球、打者のバットスイングとも素晴らしかった。彼らは、小学2年生で、社会体育の野球クラブに所属しているとのことだった。将来の夢について「まだ決まっていない」と答える子、「プロ野球選手になりたい」など私の目をしっかり見ながら話していた。「頑張ってプロ野球選手になってね」と激励すると「ありがとうございます。頑張ります」と答えてくれた。この他に臼田地区内の児童館や公園等を訪問したが、児童生徒の姿は少なかった。帰庁に向かう車内で野球少年のことを思い出し、とてもすがすがしい気持ちで帰庁した。



12月7日(木)

学校訪問(望月中学校)

19班 (H・M) 記

## 概要

教頭先生、生徒指導の先生から学校の現状や生徒の様子等をお聞きしました。学校目標「自主・自律・愛他」の下、多種多様な目標を達成すべく、また、コミュニティスクール推進員の方々など地域と連携しながら、教育活動を行っている旨、説明していただきました。その説明の中に「めざす教師像」があり、今年は特に幸せに注目し「well-being」を実現することに力を入れていること。また、多くの授業研究を行うなど、先生方の努力を惜しまない姿勢が伺えました。今はいじめ問題は少ないが、不登校生徒は一定数いるとのこと。インクルーシブ教育を行うため、支援に力を入れており、生徒指導のほかに支援担当の先生を2名配置。定期的に支援会議を行い、空き時間に見回りなどもしているそうです。その中で、周囲のきめ細かい対応やサポートにより不登校だった生徒が登校するようになった話も聞かせていただき、温かい気持ちになりました。また、ネットやスクリーンタイムの問題も理解する必要がある高いので、講演会を複数回行い、注意を呼び掛けているそうです。子どもたちも友達や知らない人とネットで簡単に繋がる時代になりました。しかし、SNSを含むネットの情報は必ずしも正しく健全なものだけではありません。ネット上の問題は様々ありますが、未熟さゆえにトラブルになることもあります。闇バイトなど犯罪に加担する、また加担しなければならぬ状況をつくらぬよう、継続して教育していただきたいと思いました。

12月8日(金)

7班 (Y・M) 記

巡回経路 鼻顔公園 → 大型スーパー → 下平尾地籍交通事故現場 → 駄菓子店

## 補導の様子

風もない穏やかな日和だった。鼻顔公園では、小学校6年の男子児童3人がそれぞれ持参した携帯ゲーム機で遊んでいた。「親との時間の約束を守っていますか？」の問いかけに「はい!」と返事があった。その傍らでは、他の小学校の男女児童6~7人がボール遊びをしていた。以前、大型スーパーのイートインコー

ナーで大勢の中学生がゲームをしている姿が見られたが、店長によると「最近、生徒はまばらで苦慮していることはない」とのことでした。その後、過日発生した交通事故現場を視察。夕暮れどきの自転車や歩行者への配慮は欠かせない……と実感しました。最後に、佐久東小学校近くの「駄菓子店」を訪問。独自のシステムで駄菓子を介して大人と子どもを手紙でつなぐ心温まる試みに感動しました。

12月11日(月)

12班 (M・S) 記

**巡回経路** 生涯学習センター → 東田公園 → 取出町ふれあい公園 → 高柳公園  
→ 鍛冶屋公園 → 中嶋公園 → 原公園 → 城山公園

#### 補導の様子

生涯学習センターに集合し、学習室のようすを公民館の職員に聞くと「学習室の利用は高校生が2、3人であるが、学習室の外の利用が多い」とのことであった。街頭活動では、公園を中心に巡回したが、東田公園、取出町ふれあい公園、高柳公園では遊んでいる子どもの姿は見られなかった。鍛冶屋公園、中嶋公園では、数人の子どもたちが遊んでいた。原公園では、いつも野球などを行っている子どもの姿を見かけるが、今日は静かな状況であった。城山公園でも数人の子どもたちの姿が見られるのみであった。



12月12日(火)

8班 (N・H) 記

**巡回経路** 大型ゲームセンター → ネットカフェ  
→ ゲームセンター → 小田井児童館 → ショッピングモール → パチンコ店

#### 補導の様子

小雨上がりの中、巡回を始めた。大型ゲームセンターに入場者は少なく、数名の成人と1組の親子連れが見られた。ネットカフェでは、ダーツ、ビリヤード場に数名の客の姿はあったが、オンラインゲーム席の利用者はなかった。隣のゲームセンターでも来店客は数名だった。小田井児童館に着くと、ほどなくスクールバスが到着し、高学年の児童15名ほどが降りてきた。館の中では、低学年の児童が運動施設でボール遊びをしたり読書をしたりして、思い思いに時間を過ごしていた。到着した児童も、ランドセルを置くと、さっそくそれぞれの活動を始めた。中には館庭に出て元気に遊ぶ者もいた。当日の児童館利用者は20名ほどであったが、館は児童であふれていた。最後に立ち寄ったパチンコ店は盛況で、駐車場は8割程度埋まっていた。併設されていた映画館はすでに閉館となっており、入り口は施錠されていた。明かりのない館内に人影はなく、にぎわいを見せていた往年のホールを思い出し、寂しい気持ちになった。

12月13日(水)

1班 (K・M) 記

**巡回経路** 中佐都児童館 → 高瀬児童館 → 佐久平浅間児童館

#### 補導の様子

下校時間の早い水曜日であったためか、中学生の姿を多く見かけました。本日は児童館を回りました。中佐都児童館では、外でボール遊びをする子どもたちや室内で漫画本を読んだり、宿題をしたりする子どもたちで元気いっぱいでした。館長さんにお聞きすると30~40名程が利用しているとのことでした。高瀬児童館でも同様の情景が見られました。今日は60名程の利用でしたが、多い時は80名程が利用するようです。また、館庭が道路に面しているためボール遊びが出来ないそうです。佐久平浅間児童館では、100名程の子どもたちが利用していて、大変な人数だと感じました。児童館で具合が悪くなった子どもたちの対処のために、ベンチを作りベッドになるように工夫されていました。今日児童館を回りましたが、大勢の子どもたちが利用しており驚きました。

12月14日(木) 学校訪問(佐久城山小学校)

15班 (K・Y) 記

### 概要

学校訪問で佐久城山小学校を伺いました。学校長と生徒指導担当の先生、専門補導委員3名、補導委員4名との9名で会議を行いました。学校の概要や日頃の児童の様子を伺い、補導委員への要望や補導委員から学校への質問など情報交換を行いました。市内5番目に多い児童数で、学校教育目標は「自分の手足を動かし、頭を働かせ、心で感じ取る」とのことでした。「今年度に入り、非行行動はないが、不登校児童が数名いる」とのことでした。また、「佐久城山小学校の子どもは、優しくて努力をする子が多い」とのことでした。地域に住む者として、先生方と一緒に話し合う貴重な体験をさせていただきました。

12月18日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** 中込会館 → 中込駅前駐輪場 → 平賀新町公園  
→ 水上公園 → 橋場公園 → 成田公園 → 成知公園



### 補導の様子

暖かな日々が続いていましたが、一気に寒さが戻り、冷たい風も拍車をかけ冬本番に入った天候でした。中込会館で、職員に利用状況をお聞きしましたが問題はないとのことでした。中込駅前の駐車場の空き場所には4台の自転車が駐輪してあったのが気になり、市営駐輪場を見ましたが、まだ十分に駐輪できる状況でした。今後も注視しながら巡回したいと思います。下校時刻で通学路を巡回していましたが、小中学生の姿をほとんど見ることはできませんでした。また各公園で子どもの遊んでいる姿も見られませんでした。平賀新町公園には、下校途中で寄ったという6年生と2年生の2名がいたので声をかけて話を聞くと、来年度の新しいカリキュラムの試しで、授業時間を5分短縮して、5時間授業後に昼食を摂り6時間目は学級で使う時間になったと話してくれました。今日が初めてで、慣れないので「大変だ」と答えてくれました。「頑張っ

てね」と声をかけて公園を後にしました。

12月19日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 大型スーパー内ゲームコーナー → 市民交流ひろば → 近津南公園  
→ 宮ノ前公園 → 大型ゲームセンター → 小田井児童館 → ビデオ販売店

### 補導の様子

鉛色の空から雪が降り出しそうな天候の中、巡回をしました。大型スーパー内のゲームコーナーには、高校生と保護者同伴の子どもさんが数組いるだけで、小中学生を見かけませんでした。大型ゲームセンターには、老若男女の各世代層が30数組いたのに驚きました。店員さんに「心配なことはありませんか」と声をかけましたが、「ありません」との返答でした。小田井児童館では、佐久平浅間小学校が保護者懇談会のためいつもより早い時間から来館しているとのことでした。近津南公園や宮ノ前公園で多くの小学生が遊んでいました。それぞれの公園で声をかけると、懇談会中だったので午後の時間を遊ぶ時間として約束していたようで、「〇〇さんと約束したので来たよ」「家に帰ってから来た」などと話してくれた公園内には、20数名が元気に走り回っていました。

12月20日(水)

9班 (T・H) 記

**巡回経路** 生涯学習センター → 鍛冶屋公園 → 高柳公園 → 中嶋公園  
→ 南部交番 → 生涯学習センター

## 補導の様子

朝から冷たい北風が吹く中、街頭補導活動を行いました。鍛冶屋公園には誰もいませんでした。高柳公園を訪問すると、2人の小学生男児がゲーム機で遊んでいました。声かけすると素直に応じてくれました。ゲーム機の使用について「『使用する時間は2時間まで。午後9時にはやめる』など親と約束しています。約束を守っています」と答えてくれました。早く帰宅するよう指導し、その場を離れました。中嶋公園にも誰もいませんでした。南部交番を訪問し、警察官から最近の犯罪などについて伺いました。最近多いのは、リフォーム業者が、家庭を訪問し「屋根が壊れている」などと危機感をあおり、高額な工事費を請求されたという届出や相談が多いとのことでした。十分注意しなければと思いました。

12月21日(木)

専門補導委員 記

巡回経路 浅間会館 → ねむのき公園 → 佐久平浅間児童館 → 大型スーパー

## 補導の様子

浅間会館学習室では、2名の男子高校生が静かに勉強中。ねむの木公園には、人の姿はなく、佐久平浅間児童館を訪問。館長に伺うと「130人位の児童が来館する日もあるが、今日は100人位が来館」とのこと。児童は、勉強したり、所狭しと追いかけてっこをしたりして元気に遊んでいた。大型スーパー内のゲームコーナー2カ所を巡回。今年オープンしたゲームコーナーに小学校低学年と思われる男児2名がいた。子どもだけでの来店かと思い、声かけをした。少年は「ママと来た。ママから『買い物してくるから、ここで遊んでいなさい』といわれた。もうすぐママが来る」と話してくれた。母親の気持ちが理解できないわけではないが、出来れば児童だけにしないで一緒にいて……と思いその場を去った。

12月22日(金)

学校訪問(岸野小学校)

10班 (T・M) 記

## 概要

今年最後の活動は、岸野小学校への学校訪問でした。校長先生と生徒指導の先生から「トラブルはなく、子どもたちは比較的落ち着いている」とお話がありました。岸野地区には子どもが遊べる公園が少ないこともあり、秋までは放課後16時30分まで校庭を開放していると説明がありました。年々児童数が減少傾向にあり、清掃範囲が広くて大変であることや児童会の負担を減らすよう検討しているとの説明もありました。また、専門補導委員から交通事故防止やゲーム依存への注意等の話があり、有意義な情報交換の場となりました。

12月25日(月)

16班 (O・R) 記

巡回経路 あいとびあ → 龍岡城駅 → 田口児童館 → 青沼児童館  
→ 臼田図書館 → 稲荷山公園 → あいとびあ

## 補導の様子

年の瀬のせいか車が慌ただしく動く中でのパトロールでした。龍岡城駅には誰もいませんでした。田口児童館では、庭で砂遊びをしたり館内で読書や卓球をしたりしていました。青沼児童館で冬休み中の利用状況をお聞きすると「通常時よりも増える」とのことでした。両児童館とも12月29日から1月3日までは休館とのことでした。臼田図書館は休館でしたが、隣のグラウンドで2人の子どもが野球の練習をしていました。稲荷山公園では、放課後等デイサービスの職員に引率された子どもたちが寒空の下、元気よく遊んでいました。「子ども10人と職員6人で来ている」とのことでした。



12月26日(火)

14班 (K・M) 記

**巡回経路** 中込駅 → 中込会館 → グリーンモール → 成知公園 → 中込児童館  
→ 成田公園 → 橋場公園 → 水上公園 → 横町公園

**補導の様子**

成知公園に行くと、大勢(40人くらい)の中学生が楽しそうに体を動かしたり、野球をしたりしていた。専門補導委員の姿を見ると一人の男子中学生が近寄ってきて「僕は、中学を卒業したら自衛隊に行く」と言っていた。また、学童保育の職員に見守られながら大勢の児童が遊んでいた。中込児童館の館庭では、子どもたちが上手に縄跳びをやっていた。館長に何うと「縄跳びが流行っている」とおっしゃっていた。今日は45人くらいが来館していた。横町公園では、女子中学生数名が話をしていたが、他の公園には誰もいなかった。

12月27日(水)

18班 (Y・K) 記

**巡回経路** 八幡神社公園 → コンビニ(カラオケ店) → 浅科図書館 → 矢嶋泉公園  
→ 五郎兵衛記念館広場 → 浅科人権文化センター分館 → 佐久市浅科支所

**補導の様子**

青空が広がる天気でしたが、寒さが身に染みる巡回でした。八幡神社公園、矢嶋泉公園、五郎兵衛記念館広場は、利用者もなく閑散としていました。カラオケ店を営んでいるコンビニでは、快くオーナーからお話を伺うことができました。オーナーから「児童生徒による問題行動はない。また、カラオケ店の利用もあるが、親が送り迎えをしてくれる」と伺いました。なお、青少年健全育成協力店のステッカーが剥がれそうになっていました。浅科図書館には、10名ほどの利用者がいました。母親や祖父と来館している幼児・児童、姉妹のほかに同級生で手芸を楽しんでいる女の子、学習室で勉強している中学生等落ち着いた風景となっている図書館でした。浅科人権文化センター分館の広場には、自転車で乗り付けた中学生3名、声をかけると、気さくに話をしてくれました。学校の部活動は、一人の子はバレーボール部に所属しているが部員数が少なくチーム編成できないので、望月中学校と合同チームで活動しているとのことでした。他の2名は剣道部とのこと。寒い中、元気にはしゃいでいました。

12月28日(木)

3班 (I・S) 記

**巡回経路** 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク  
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームコーナー・フードコート

**補導の様子**

師走も押し迫った暖かな陽気の中での巡回でした。市民交流ひろばでは、女子4人組から先に気持の良いあいさつをされました。親子連れが多数遊んでいました。野球をしていた高校1年生に声かけをすると、気持ちの良い返事もらいました。ミレニアムパークでは、12名でバスケットボールを楽しんでいました。「このような場所があるので、皆で交流できる」と話してくれました。佐久平駅は、夕方のためか、お客は少なかったです。大型スーパー店内のゲームコーナーは、親子連れが多かったです。時間により変化するゲームコーナーは、特に問題ないとのことでした。フードコートでは、仕事や勉強している人が大勢いました。休みに入ったため、平常時より利用客が多いとのことでした。



## ＜12月の補導を終わって。 専門補導委員 Y・K＞

新年早々、天災・人災に見舞われた年は、あったでしょうか？私の記憶の中では初めての経験だと思います。元日には能登半島付近を震源とした最大震度7の大地震、翌2日には羽田空港で旅客機と海保機による航空機事故、新年早々2日連続で大惨事が起きました。天災により、多くの尊い命が奪われてしまいました。お亡くなりになられました方のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみ申し上げ、行方不明になっている方の一刻も早い救出、また、被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

さて、一年の世相を表す漢字一字「今年の漢字」は、年末の風物詩となっています。過去の「今年の漢字」をひも解くと「ウクライナ侵攻に関し【戦】」「コロナウイルス感染症予防対策の【密】」「台風や地震災害が連続発生した年の【災】」など暗い世相を映す漢字が多かったように思います。

このような時勢ではありますが、昨年、感動した出来事がいくつかありました。例えば「WBCでの侍ジャパンの優勝」、大谷選手の「ホームラン王獲得」「全国すべての小学校へのグローブ寄贈」などです。また、1月の都道府県男子駅伝で長野県が、12月の全国高校駅伝男子で佐久長聖高校が優勝しました。とてもうれしく、子どもたちに希望や勇気を与える素晴らしい出来ごとだと思います。

ところで、中日ドラゴンズの谷元圭介選手をご存じでしょうか？谷元選手は、佐久市を本拠にしていた社会人野球チームTDK千曲川が平成20年に「佐久市」として都市対抗野球大会に出場した時、その実力を買われ「佐久市」の補強選手として出場した選手です。その谷元選手は、昨シーズンで引退しましたが、その引退セレモニーの映像を見る機会があり、その時のスピーチがとても印象に残りました。彼は、身長160cm 台と背が低く、スピーチで「小学生のころ整列の時は一番前でした。『前にならえ』と号令がかかると僕だけ『気をつけ』をし、後ろの人は『小さく前にならえ』をしていました。当時の夢は『小さく前にならえ』をすることでした」と少年当時をかたっていました。その少年は、努力を重ね「佐久市」の補強選手として大舞台に立ち、その年のドラフト会議で日本ハムファイターズから指名を受けて入団、その後、中日ドラゴンズに移籍、数々の活躍をした「小さな大投手」でした。そしてスピーチの最後には、これまでにお世話になった方々の名前を挙げ、それぞれの方へ感謝を述べていました。スピーチの最後には「少年少女たちへ 夢をあきらめないでください。夢はかないます。応援しています」と青少年に対し熱いエールを送ってくれました。関係者への感謝、青少年へメッセージを送り、万雷の拍手を浴びながら引退セレモニーの幕が下りました。

今年は、思いがけない年の初めとなりましたが、年末には、希望に満ち、明るく輝かしい未来を象徴するような「今年の漢字」になればと思う年の始まりです。



「青少年は地域社会から育む」という観点に立って、本年も青少年健全育成活動へのお力添えをお願いいたします。